

## 令和6年度の学校評価

重点 目標	①児童生徒及び職員の人権を守り、多様な一人一人を認め合う学校づくりを進める。	
	②児童生徒が安心安全に学習できる場となるように環境整備を進める。	
	③「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業改善に取り組む。	
	④交流及び共同学習を充実させ、卒業後も見据えた関係諸機関との連携体制を整える。	
	⑤学校内外の研修の機会をとおして肢体不自由教育における専門性の向上に努める。	
	⑥業務内容を見直し、職員の多忙化解消を目指し教育活動を充実させる。	
	具体的方策	
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権に対する知識や理解を深める。</li> <li>人権週間の取組を継続して、互いに認め合う意識を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒及び教職員一人一人の人権に対する意識を高め、互いの人権を尊重しようとする態度や思いやりの心を育てる。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災意識を深めた実践的な訓練に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の対応、避難場所を全体に周知する。また、安全に避難するため、事前に各部や各学年で避難の想定を行い、避難準備の充実を図る。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時や事故発生時に、素早く適切に対応できるよう情報発信、研修、環境整備等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新校舎の各教室の配置や動線を考慮し、危険に対する対応策を検討し実行する。</li> <li>要所に必要物品を配置し、素早く情報共有できる方法を確立するなど、全職員に対して啓発や研修を行い定着させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい環境に応じた儀式の形を計画し、実施する。</li> <li>環境整備（総務関係）を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度までの計画案を基に検討を行い、計画していく。必要に応じて感染症対策案についても想定して計画する。</li> <li>使いやすさや効率的な面も考慮しながら、下駄箱などの割り振りや総務関係の備品などの管理場所を決める。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を取り入れた教育課程を編成し、授業の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の実態に応じた教育課程を編成するために、学習指導要領の内容を周知する。</li> <li>個別の教育支援計画に記載された内容に基づき、年間目標や学習内容を設定して指導を行う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動において、個に応じた効果的な情報機器や支援機器の活用ができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新校舎に対応した、情報機器や支援機器の利活用環境を整備する。</li> <li>教職員の情報機器や支援機器の活用スキルが高まるように、情報の提供やニーズに応じた研修会を実施する。</li> </ul>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に関する情報を家庭と学校が共有し、進路指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路ガイド、進路だより、福祉サービス説明会等を通して、進路に関する情報を提供する。</li> <li>関係機関と連携し、進路に関する情報を収集する。</li> </ul>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の調整や新たな研修を行い、職員の専門性の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分掌と連携し、現職研修の充実を図る。研修当日に参加することが難しい職員にも研修内容が分かるように録画や資料の周知を行う。</li> <li>水治訓練室での活動研修など新しい研修を充実させることで専門性の向上を図る。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校内外の研修の機会や相談の取組を通して、肢体不自由教育における専門性の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部専門家との情報交換や研修会の機会を通して専門性の向上に努める。</li> <li>自立活動相談を活用し、各教員の指導力向上を図る。</li> </ul>
⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務内容を見直し、教材研究等の時間を十分に確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議の実施方法を効率化し、諸業務の簡素化を積極的に行う。</li> <li>職員室が一つとなり職員間での連携を取りやすい環境を生かして、業務の効率化を図る。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目	○人権尊重 ○安心安全な学校 ○授業内容の充実	